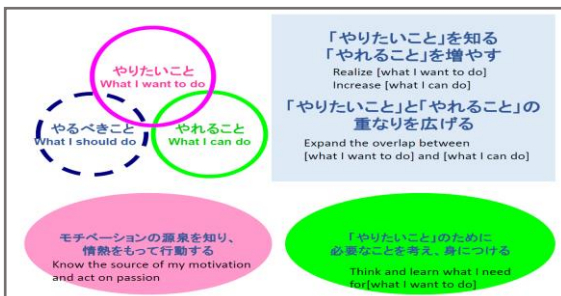


《第2回第2学年国際理解コース模擬授業》

令和4年11月17日(木)6・7限

講師 豊島株式会社 栗田 久里子様

授業開始直後、「5秒で自己紹介をしてください」という言葉に面食らった生徒たち。クラスメイトの自己紹介を聴きながら、栗田様のやさしく穏やかな相槌に生徒たちの緊張がほぐれ、引き込まれていくのが見て取れました。その後、自己紹介の話から「第一印象」へと移り、第一印象を良くしてもらうために「見た目」「コミュニケーション力」「魅力的な人になる」ことを心がけるのが大切だと話していただくころには、何も言わずともすらすらとメモを取っている姿がありました。中には枠に書ききれない程たくさんのことをメモする生徒もいて、栗田様の話を一生懸命に聴いているのがよくわかりました。



栗田様の資料より

その後は「なりたい自分になる」ことをテーマに、今まで自分はどんな時にやる気が出て、どんな時に落ち込んだかを書き出し、その後クラスで共有しました。生徒が「落ち込んだ時」を発表すると、栗田様は理由や克服方法を追加で質問してくださり、今後似たような状況になった時の解決策を提示してくださいました。ご自身の経験だけではなく、生徒が自分について考え、また他の生徒の意見にもふれる機会をたくさんつくっていただいたことで、短い時間の中でとても多くのことを生徒が学び、感じ取ったように思います。

特に盛り上がっていたのは「私のイメージカラー」を考え、発表する時間でした。ポジティブな言葉だけを使って書くことで、発表する間、生徒は照れくささもあつつつ嬉しそうにお互いの意見を聴いていました。また、授業後には布を当てて似合う色を探す体験に多くの生徒が参加し、楽しそうに意見し合っていました。自分に本当に似合う服だけを買って、大事に使うことが環境保全の一つになることを学ぶ機会になりました。

授業の最後には、妄想した「なりたい自分」を一人一人が発表し、栗田様から丁寧なアドバイスをいただきました。これまで進路に迷っていた様子の生徒も、自分の過去を振り返ったり、職業や学問に限らず「どんな人になりたいか」また、「友達からどんな人と思われたいか」という切り口から考えたりすることで、すらすらと「なりたい自分」を発表できていました。どの生徒も緊張はあったと思いますが、恥ずかしがらず、「なりたい自分」を発表している姿が立派でした。本格的に受験に向かう2年生のこの時期に素晴らしい機会をいただき、生徒にとって間違いなく貴重な時間となりました。栗田様、ありがとうございました。

消費者としてできること：What you do as a consumer

- 今ある服を長く使う
- 廃棄するときは再利用できるかを考える
- 衝動買いをしない
- 服の製造背景（環境汚染・人権問題など）を知って、オーガニックやフェアトレード、再生素材などを選ぶ
- 新品にこだわる必要はない
- リサイクルできるものを選ぶ
- 自分に似合って長く使えるものを選ぶ

Use my existing clothes for a long time
Think about what can be reused when disposed of
Avoid impulse purchases

- Know the background of clothing production (environmental pollution, human rights issues, etc.)
- Choose organic, fair trade, recycled materials, etc.
- Don't be obsessive about new clothes.
- Choose items that can be recycled.
- Choose clothes that suit me and can be used for a long time.

エシカルファッションの紹介



自己紹介をしている様子



授業後の似合う色探しの様子